

全身疾患と目との関係などについて解説した川崎氏



# 目の疾患は全身と関係

弘大COI特別講演会 川崎教授(大阪大)紹介

弘前大学COI特別講演会が16日、弘前大学の健康未来イノベーションセンターで開かれた。大阪大学大学院医学研究科視覚情報制御学(トプコン)寄付講座の川崎良教授が「高血圧と眼」について講演し、参加者が目の疾

患と全身疾患との関わりを理解を深めた。川崎氏は、2002年に山形大学医学部助手、10年に大阪府立健康科学センター健康開発部特別研究員、13年に山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座助教、15年に同准教

授を経て、19年から現職。眼科学や衛生学、公衆衛生学分野を専門としている。

講演会は弘前大学COIの取り組みの一つ。川崎氏は、講演の中で、「目の血管は直接血管を評価できる貴重な情報源」とし、目の血管異常と循環器疾患などとの関係などを紹介。眼球の画像解析を応用し、病気の早期発見、発症前診断を目指す新たな可能性も指摘した。

(成田真由美)